

2 (1) 達成水準・時期の明確化、アウトカム（成果）指標化

基本的な考え方

目標の達成度を測定する指標を総点検し、できるだけ達成水準・時期を明確化し、アウトカム（成果）指標化を図る方向で整理。

従来

- ①アウトプット指標の割合が多い。
- ②単なる予算上の箇所数が記載されているなど、達成水準や達成時期の記載のないものが混在。

見直し後

- ①できるだけ達成水準・時期を明確化、指標をアウトカム（成果）指標化。
- ②目標の達成度を測る指標とするのにはなじまないものの、施策をとりまく動向を把握するために有益と考えられる統計は、「参考統計」として整理。

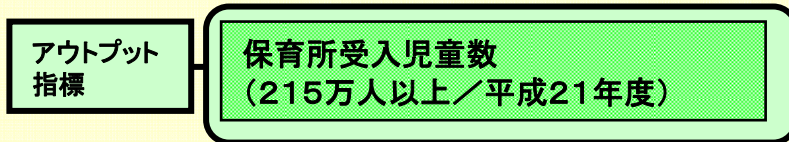
記載例<施策目標VI-2-3>

VI-2-3 保育所の受け入れ児童数を拡大するとともに、多様なニーズに対応できる保育サービスを確保すること

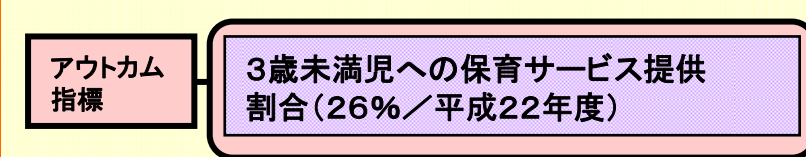
個別目標1 保育所の受入児童数を拡大すること

【個別目標に係る指標(達成水準/達成時期)】

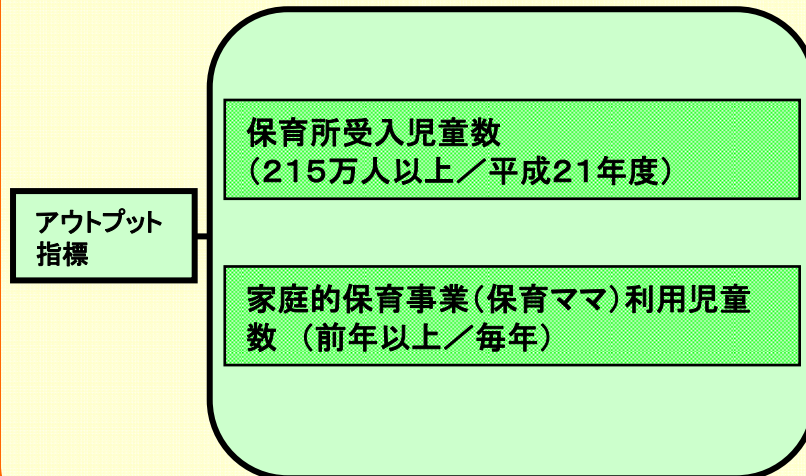
従来



見直し後



追加



追加



アウトプット指標

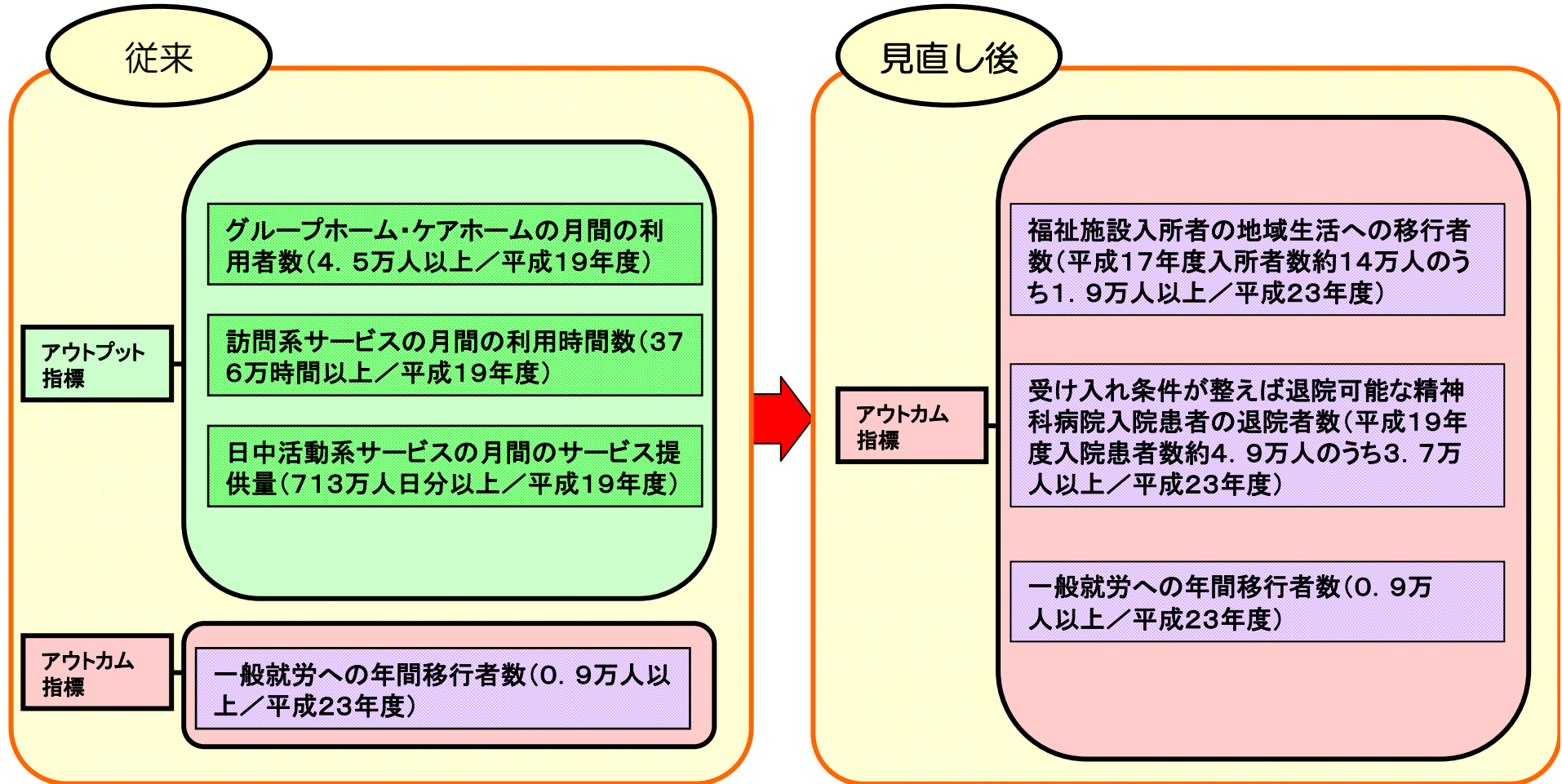


アウトカム(成果)指標

記載例 <施策目標Ⅷ-1-1>

Ⅷ-1-1 障害者の地域における自立を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること

【施策目標に係る指標(達成水準/達成時期)】



■ アウトプット指標 ■ アウトカム(成果)指標